

## EP8000 HMMC(V9)

### Critical Console Data Backup/Restore 実施手順

#### 留意事項

- (1) 本手順書は、EP8000 Hardware Management Console の **Version 9** に適用されます。
- (2) 本文中の図は画面イメージです。HMMC Code Version により、画面表示や表示文字が若干異なる場合があります。
- (3) Critical Console Data Backup/Restore を実施すると、ハードウェアマネージメントコンソール(以降 HMMC と記載)の各種設定情報(注 1)が退避/復元されます。HMMC または LPAR に関連する情報の設定が完了した時点で、Critical Console Data の Backup を行い、ハードディスクに保存されている設定情報を USB メモリ、又は、FTP サーバに保管しておきます。障害発生時は Backup した Critical Console Data を Restore することにより、設定情報の復元が可能となります。退避/復元される設定情報は装置固有のものとなりますので、Backup した Critical Console Data を Restore できる装置は 1 データ/1 台に限られます。複数台の装置へ Restore することはできません。  
(注 1) LAN 設定(IP アドレス等),LPAR プロファイルデータ 等 全ての設定情報
- (4) Critical Console Data の Restore では、EP8000 Hardware Management Console Recovery Disc 及び、Update Disc を使用します。
- (5) EP8000 Hardware Management Console Recovery Disc をインストールする際、USB 外付け DVD ドライブが必要になります。HMMC 1 台毎に必須オプションとして外付け USB DVD ドライブ(THE-7063FCEUA5)を 1 台ずつ出荷していますので準備してください。必須オプションの DVD ドライブおよび、USB Y ケーブルが見当たらない場合は、保守用共通治工具の DVD ドライブを使用してください。  
※(HISYS)保守用の共通治工具は動作確認済です。(機材番号 : T909600 ロジテック製 LDR-PMJ8U2LBK)
- (6) Critical Console Data を Restore する時は、機器添付の EP8000 Hardware Management Console Recovery Disc 及び、Update Disc を使用してください。他の Version の Recovery Disc を用いて Restore はできません。
- (7) HA モニタ稼働中に CCD の Backup を行うと、HA モニタでエラーが発生し以降の系切替が正常に行われない場合があります。HA モニタ稼働中に CCD の Backup を行う場合は、本手順書「4. HA モニタ稼働中の注意事項」を参照してください。
- (8) Critical Console Data の採取元と復元先の HMMC Code バージョンは同一になります。異なるバージョンの HMMC にリストアすることはできません。
- (9) Hardware Management Console の USB ポートに DVD ドライブや、USB メモリを接続する際は、ラックのフレーム金属部分に 5 秒以上触れ、静電気を除去してから接続してください。

次頁に続く

**留意事項**

- (10) HVMC コードにはインストール時の認証期限が設けられており、**2027 年**以降本ドキュメントに記載している HVMC で CCD リストアをする場合、認証期限切れにより Recovery メディアのインストールに失敗する場合があります。CCD のリストアを行う際はまず以下に示す【HVMC コード別、回避策実施要否確認表】により「作業日がインストール前に回避策が必要になる日付に該当していないか」を確認してください。
- 該当する場合は【Recovery メディアインストール失敗事象の回避策】を次頁に作業フローとして記載しておりますので、CCD リストアを実施する際は必ず内容を確認し、フローに沿って作業を実施してください。
- なお、作業では本ドキュメント(CCD 手順書)と「ハードウェアマネージメントコンソール Recovery メディアインストール時の注意事項」(ASC-DC-MAN-HMC-0274/以降、「インストール注意事項」と略します)を使用します。作業前に「インストール注意事項」のドキュメントを手元に準備してください。
- ※1 「作業日が作業を行う HVMC コードの認証期限以前」の場合は通常通り作業を実施してください。
- ※2 この内容は CCD バックアップ取得時には影響しません。
- (11) HVMC へ直接 USB メモリを接続した場合、稀に USB メモリが認識されない場合があります。認識されない場合は「付録.1」を参考にして USB メモリを接続してください。
- (12) RPC2 を使用している場合、Critical Console Data をリストアした後に次の作業が必要です。
- ・HVMC コードが V9R1 M931 まで : RPC2 の再インストールおよび RPC2 関連ファイルのリストア
  - ・HVMC コードが V9R2 M950 以降 : CCD リストア後のリカバリ作業
- 手順は、「LPAR 電源制御機構(RPC2)保守マニュアル(ASC-SD-0944)」または「LPAR 電源制御機構(RPC2)ユーザマニュアル 操作編」を参照してください。

**【HVMC コード別、回避策実施要否確認表】**

以下の表は HVMC コード毎に次頁に示す回避策が必要になる日付を表しています。CCD リストアを行う際は作業を行う HVMC コードの欄を確認してからその後の作業を行ってください。

HVMC コード	インストール前に回避策が必要になる日付
V9R1	2027 年 12 月 31 日 21 時 38 分 20 秒以降
V9R2	2031 年 10 月 21 日 4 時 31 分 57 秒以降

## 1. 概要

本手順書は EP8000 HVMC において、Critical Console Data を Backup、および Restore する手順について示します。

Critical Console Data の Backup、Restore を行う方法は、USB メモリ(ローカル)による Backup と、FTP(ネットワーク)による Backup が有ります。DVD-RAM は使用できません。

Backup を実施する場合、次の要件を満たす必要があります。

Backup 方法	要件	備考
USB メモリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ USB3.0 に対応していること。</li> <li>・ 容量 8GB 以上あること。</li> </ul>	1 つの USB メモリに保存できる Critical Console Data は 1 台分のみです。2 台分以上の Critical Console Data を保存することはできません。
FTP	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HVMC から ping コマンドで疎通可能な FTP サーバが存在すること。</li> </ul>	-

図 1-1 に Critical Console Data の Backup 実施手順の概要を示します。

EP8000 HVMC において Critical Console Data の Backup は、「USB メモリを使用」する方法と、「FTP」で採取する方法があります。USB メモリに Backup するには、はじめに USB メモリのフォーマットを実施し、続いて Critical Console Data の Backup を実施します。

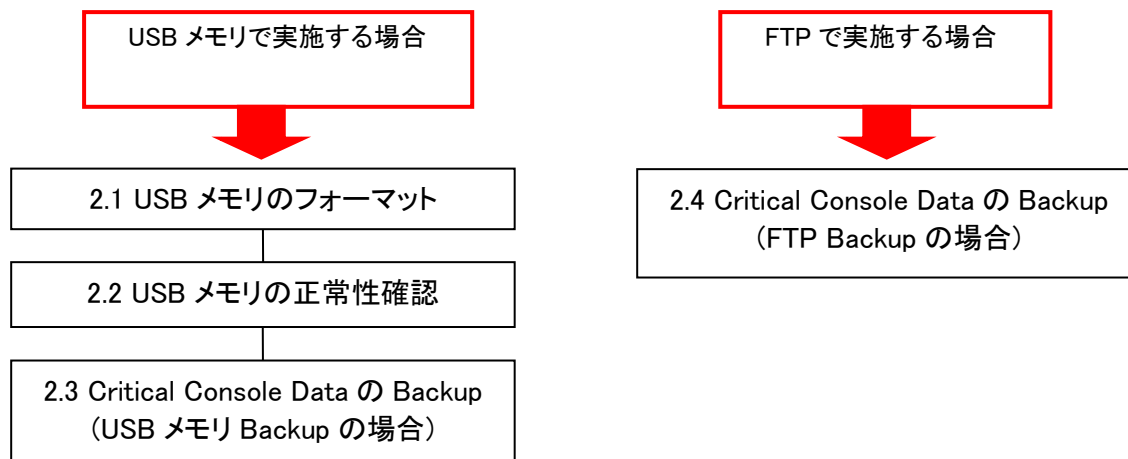


図 1-1 Critical Console Data の Backup 実施手順

図 1-2 に Critical Console Data の Restore 実施手順の概要を示します。

EP8000 HVMC において Critical Console Data を Restore するには、はじめに EP8000 Hardware Management Console Recovery Disc を DVD からインストールし、その後 Critical Console Data の Restore を実施します。

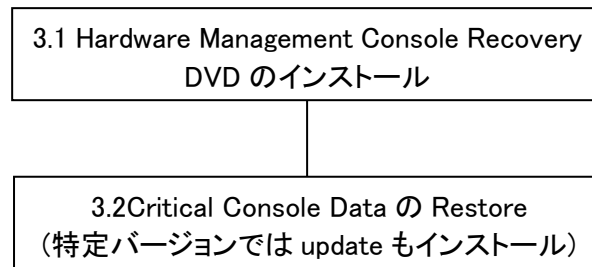


図 1-2 Critical Console Data の Restore 実施手順

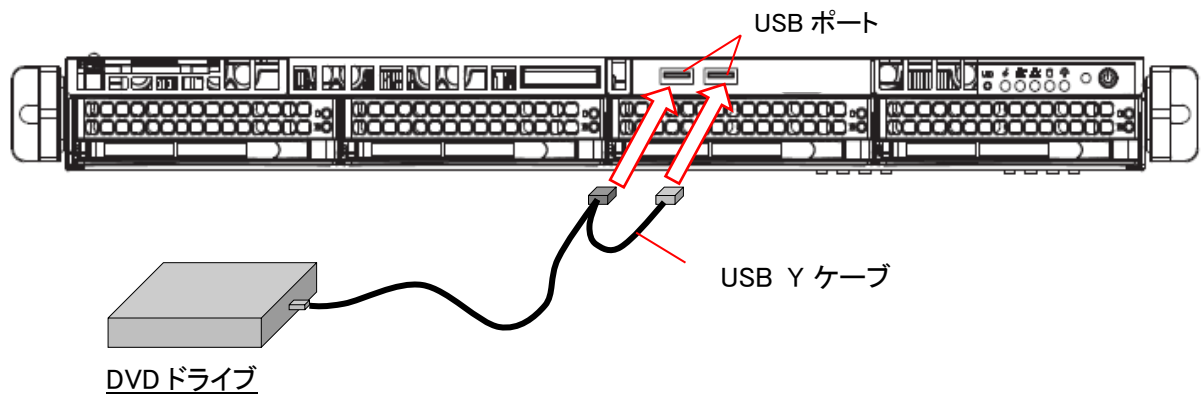
・EP8000 Hardware Management Console Recovery Disc をインストールするには、外付け USB DVD ドライブが必要です。

HVMC 1 台毎に必須オプションとして外付け USB DVD ドライブ (THE-7063FCEUA5) を 1 台ずつ添付出荷していますので準備してください。また、この DVD ドライブは USB Y ケーブルを前面 2 つの USB ポートに接続して使用します。USB Y ケーブルも合わせて準備してください。

添付の DVD ドライブおよび、USB Y ケーブルが見当たらない場合は、保守部品を取り寄せてください。

一般的な USB DVD ドライブも使用できますが、USB の電力が不足して動作が安定しない場合があるため、AC アダプタ等から給電するセルフパワー方式の DVD ドライブか、Y ケーブルで接続されることを推奨します。

※(HISYS)保守用の共通治工具は動作確認済です。(機材番号 : T909600 ロジテック製 LDR-PMJ8U2LBK)



HVMC(CR1)前面 USB DVD ドライブ接続図

## 商標類

- ・ IBM、AIX、DataStage、HACMP、POWER、POWER7、POWER8、POWER9、PowerHA、SystemMirror は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標です。
- ・ UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・ Microsoft および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ HITACHI, JP1 は、(株)日立製作所の登録商標です。
- ・ Magick Packet は、Advanced Micro Devices, Inc.の登録商標です。
- ・ その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

# Critical Console Data Backup/Restore 実施手順

詳細については、製品添付される紙面に記載される URL または問い合わせ先に連絡願います。

本書の内容については、製品添付される紙面に記載される URL または問い合わせ先に連絡願います。

本書の内容については、製品添付される紙面に記載される URL または問い合わせ先に連絡願います。



